「高橋泰司様霊的成長支援検討書」レジメ

1. 目的

高橋泰司さんの現在の状況を踏まえて、どのような霊的援助が最善になりそうか検討を継続している。
2026/7/18-20 の川上村旅行が良い感化を得ていただく機会になるよう最善を尽くして計画する。

2. 状況（考えられる要因）

① 飲み過ぎというアルコールの問題を抱えている（娘家族の世話で大きなストレスにさらされている。古い友人の飲み仲間が多く、影響を受けている。酔わないとストレス解消にならないと考えている）
② 毎朝仏壇に手を合わせる（母親を慕っている。自分が JW にならない/なれないことをアピール）
③ 司会者の助言や提案（アルコールの抑制、レッスンの時の祈り、集会でのコメント）を無視

3. 要因検討

① 決して強制はできない。今回の旅行が高橋にとって楽しいものとなり、クリスチャン家族に入ることがどれほど素晴らしいことか、感じていただけるように、自分から話さず高橋さんの悩み話しを良く聞く
② 厳しく非難したり、恐れさせたり、策略を巡らしたからと言って歩みを変えるのは簡単ではなさそう。
③ 聖書の真実さも理解されて、健康を損ない、エホバに救っていただけない心配もお持ちかも
④ 霊的成長停滞問題とともに健康問題が心配、何とかアルコールではないストレス解消法を見つける
⑤ 昔からの友人や親族やエホバの証人のことも気遣う心優しい方だが、今のところ JW になるつもりない
⑥ 他人特に昔からの友人の自分への評価をとても心配されて、サタンにリモートコントロールされている
⑦ 献身とバプテスマが必ずしも救われる根拠にはならないが、救いの必須条件ではある
⑧ 救われない選択もその人には重要で、最善かもしれず、誰も文句を言うことはできない
⑨ 聖書の福音を伝えることは現在の地上で最も価値あるボランティアで、これ以上の喜び味わえない
⑩ エホバとの関係を回復しないと真の幸福や喜びは味わえない。人間はそのように作られているから

4. 対応方法案

① 泰司さんの霊的な成長をエホバに強く求め続ける（信仰の祈りによるエホバの援助は必須）
② 兎に角良く知り合って親しくなる。気遣い労い誉めて笑わせて喜んでもらえるように努める
③ AI の情報を一緒に読む（過剰なアルコールの認知症への影響）
④ 7/18～20 の川上村旅行中予習などしない。

5. その他（備忘注意点）

① 本資料はその存在も含めてご本人には極秘にする
② こうした具体的な援助（画策）が却って悪い結果になることもありえる
③ この援助の具体的な進め方もエホバの援助を受けながら注意深くする必要がある
④ 兎に角 7/18～20 の川上村旅行にエホバの助けと努力を集中する

以上